

地域経済をリードする 産業栽培メディア

コロンブス

MONTHLY COLUMBUS

ビジネスの新大陸を発見!!

2012
OCT.
10 680円

再生可能エネルギーの固定価格買取制度が地域の福音になる!!

消 地 地 産 地

エ ネ ル ギ ー

の

力 能 在 潜

[大地の顔]

元不動産コンサルが
天然地下水で
シイタケを菌床栽培
齋藤勇人・佐倉さのこ園園長

[地回り経済対談]

行政と市民の自主性を
喚起して持続可能な
まちづくりを目指す
山中光茂・松阪市長

[特選銘柄]

ラオスでサトウキビ栽培と
ラム酒造りにチャレンジする
シニア世代
富田栄蔵・ラオディ取締役副社長

[トップ会計人]

中部地方の5つの税理士法人と
アライアンスを組んで
時代の変化に対応
古川典明・ミッドランド経営代表取締役

[ニッポンのモノづくり通信簿]

最先端技術を導入して
自動車のボディーパーツ、
サスペンションを製造
飯塚慎一・東亜工業代表取締役社長

アジア進出の達人

[池田博義の Global Channel]
マイツグループが
中国・アジア進出支援機構
特別セミナーを開催

(株)DCS

業務用輸入機器の販売で業務を拡大
スペシャルティコーヒーが成長市場

9月26日から28日まで、東京ビッグサイトで開催されたコーヒー業界で日本最大の展示会「SCAJワールドスペシャルティコーヒーカンファレンスアンドエキシビション2012」。会場内で機械販売企業として最大面積の出展となった(株)DCS(ディーシーエス)のブースでは、同社が取り扱う通常の輸入プロダクトに加え、独自の表面加工を施したエスプレッソ

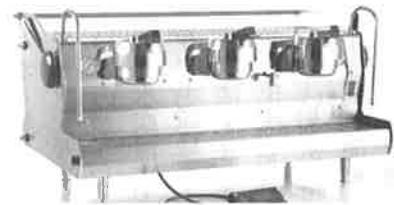
機や特殊塗装されたグラインダー(豆挽き機)が新たに出版された。これらは「DCSコレクション」としてお披露目され、関係者の耳目を集めた。

「高品質コーヒーにさらなる付加価値を与えていきたい。最終的には自社オリジナル製品を持つことが夢で、今回のコレクションはその足掛かりとなるものだ」と話すのは左野徳夫社長。さらに今回の

出店で「この市場はまだまだ伸びると実感した」そうだ。現在、同社が主力としているのは、業務用エスプレッソ機器の輸入・販売。全国のチェーン店や個人経営のカフェなどに販売網を築き、メンテナンスにも対応する。売れ筋と



ビッグサイトで行われた展示会の様子(後列左から4番目、プレートを持つのが左野社長)



新興メーカーシネソンの抽出機

なっているのはエスプレッソ抽出機「SYNESO(シネソ)」と「MAZZER(マツァー)」のふたつだという。

シネソは米国・シアトルに本社を置くコーヒー機械会社で、業界で急成長中の新興メーカー。スタッフにはエスプレッソ業界で働いた経験が揃っており、研究、開発、デザインに至るまで一貫して行っ



グラインダーのマツァー

一方のマツァーはエスプレッソの本場イタリアのブランドで、世界でもっとも安定性の高いグラインダーを供給するこ

社長のひとこと

QRコード対応のケータイ電話でご覧いただけます。



社長の自社採点

企画開発力	★★★★☆
営業力	★★★★☆
成長力	★★★★☆
収益力	★★★★☆
地域貢献力	★★★☆☆
人材力	★★★★☆
専門性	★★★★☆
リサーチ力	★★★★☆
計画性	★★★★☆
リスクマネジメント	★★★★☆

とで知られているという。「コーヒーは淹れる前に挽く作業が重要で、味の半分がここで決まるとまでいわれている。それだけにこの機械の性能は重要だ」と左野社長は説明する。

ところで、同社のモットーは「スペシャルティコーヒー」づくり。そのため「味、香りはもちろんのこと、コーヒー豆の生産の段階から味わっていたり、徹底管理している」という。長引くデフレの影響で飲食サービスの単価が下がっている。このコーヒーづくりはその点、他を圧倒しているようだ。

会社概要

本社：兵庫県西宮市甲子園口4-22-22
☎0798-6512961 / 設立1999年
資本金1000万円 / 従業員22名
<http://www.dcservice.co.jp/>

判断
断然御薦



香川会計事務所 / (有)ユアープレーン (公認会計士・税理士) 香川晋平さん

コーヒーマシン、エスプレッソマシンの輸入販売に加えメンテナンスマも手掛けています。最高品質を求めるコーヒー好きのために、左野社長はつねに世界を飛び回り、従業員は語学に堪能な方ばかり。グローバルに事業展開する同社は今後も成長を